

スキンケア指数でしっとり（協同組合通信/風雪弾） 14.12.26

人の生理や体調、精神状態等と気象学の関係の研究分野に**生気象学**がある。ドイツやアメリカで、**医学気象**として良く知られているが、日本には馴染みが少ないサービスの1つだ。

ご存知の通り、冬場は大気が乾燥し湿度が低い。肌の手入りに余念がない女性は、毎日気の晴れない朝を迎えている。

日々の天気は気になるが、テレビ・ラジオのマスコミや無料のインターネットの天気予報に、この夏情報公開とやらで気象庁まで参入し、今や百花繚乱だ。

多くの花が咲いたとて、本当に欲しい一輪挿しは数少ない。

付加価値競争が、一層高まっている気象ビジネスの夜明だ。

天気予報の精度は、既に80%を越えているといわれる。

7日の阪神競馬のレースで、武騎手が8勝し、1日の勝利数を更新した。

競馬には、数多の予想屋がスポーツ紙やマスコミで活躍している。気象ビジネスなど及びのつかない莫大な金が動くが、その当たる確率は、どうなっているだろうか？ とても、天気予報の精度には、適うまい。

昨今、知的所有権や特許を持たない企業に明日はないように言われるが、既に、著作権がある。今や兆速のインターネットの時代である。次々と新しく優れた情報が生まれ、瞬時に世界中を駆け巡る。時間と金がかかり、中小企業に利用されない現行の特許制度は、既に時代遅れではないか。少なくとも、ネット等で公開のアイデアやコンテンツは、世界標準時のスタンプを貼るシステムで、著作権を与へ保護するべきだ。行政は、即刻このことを理解し、全力を尽くしてITの浮揚を計り、無償故に沈滞している情報流通の活性化に力を入れるべきだ。

情報サービスはオープンかつ有償で競われてこそ、正しくコンテンツとして、発展することができる。とまれ女性、子供、高齢者には、冬場の皮膚や肌荒れの手入れは永遠のテーマである。手入れには適度の湿度（保湿効果の利用法）がポイントだ。天気、湿度、日照、気温、体感気温、風を勘案したオリジナル情報が開発された。**スキンケア指数**を活用し、毎日をしっとり、しっかり健康で過す一助たれと願う。

（ 気象情報システム株式会社 高 津 敏 ）

注）**スキンケア指数**は、当社の許可なく使用することはできません。